



艦隊 * 花火

K A N T A I - H A N A B I



艦隊 * 花火

K A N T A I - H A N A B I

この物語はフィクションであり、
登場する団体・人物などの名称はすべて架空のものです

「ブルネイ泊地」――

ここにいたとある
提督はある日のこと、
ブルネイ泊地を独立させたの。



日本

石油相当で185億トンに相当する
メタンハイドレートを巡った情勢の不安定化を機に
同海域における本国へのシーレーンの確保と

パラセル(西沙)諸島

南シナ海

中華人民共和国

ベトナム

スプラトリー(南沙)諸島

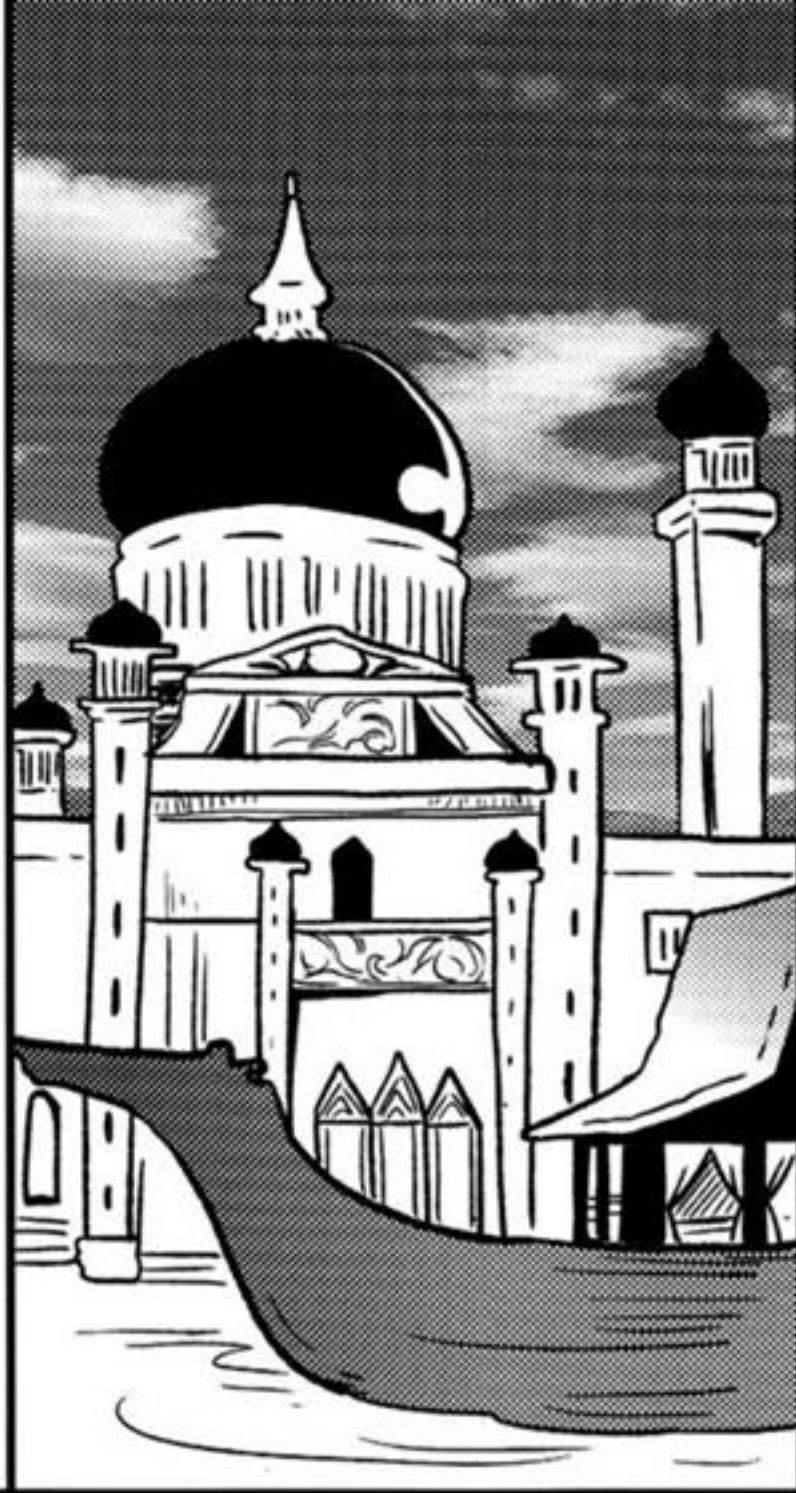
マレーシア

ブルネイ

ブルネイ油田からの石油の安定供給を
条件に、本国からの独立を宣言して
「地上の楽園」を目指したブルネイの泊地。

※前作・前々作・前々々作より

世界でもっとも裕福な国
第5位となったブルネイ元泊地。
対して本国は22位。



専守防衛を掲げる本国との間に
戦争が起きることはなかったけど
世論や他の提督は彼を妬んだんだ。
それで提督はケジメに隠居しちゃった。

みんなお世話になっている
艦娘たちにお礼をしよう



ついでに私たち妖精さんも
平和になってやることなくが
なくなり、現在は
艦娘たちに居候させて
もらっています。

前回は艦娘の写真を売って
生計を立てようと
あこぎなことを企んでいたけど
今回はカタギなお仕事？で
お金も稼げて艦娘も大喜び！
夏祭りがはじまります！

何かあったら
お姉ちゃんが
買ってあげるのに



お祭り……。
こんな経験なんて
なかったワケで――



遠くに聞こえるお囃子。
漂ってくる食べ物のおい
にぎわう人たちの明るい声。
そんな声とか音が
色彩になったような
だいたい色に揺れる提灯。



その一方で
こんな喧騒の中に
ひとりぼっちだって
感じちゃう気持ちは
すぐ隣まできてるような。



ちよっと前。

あつーいー……



仕方ないじゃん
こんな暑いんだもん
溶けるわよ……

だるー



もう瑞鶴は
だらしないなあ







ああ、「かちわり」ね。
ただの氷を金魚すくいの
ふくろに入れただけの
ものだよ

うんちく

戦後の甲子園で
発売されて甲子園の
名物になったんだ。
体を冷やしなが
ら少しづつ溶かして飲むんだよ



あれ……
食べてみたい

お祭りとかにいけば
シロップ入りのが
売ってるけど……

ヤキーン!!
お祭り!!



……



……お祭り……
行ってみたい

金魚すくいもしてみたい
なんか知らないこと
ばかりだあ……

イタッ!!
イタッ!!

……そしたら
妖精さんたちが
なんとお祭りを
企画してくれたのです。



これどう見たって
明石焼きでしょ!?



ほんなら
一口食べてみー



明石焼きなら昔から
あるじゃない!
たこ焼きってなによー





んんん



んんん

むっ、
むぐ？



んんんんんん
んんんんんん

どや？
はじめてやる？
うまいやる？
ソースが香ばしい
やる？



濃厚な方のソースが
発明されたんは
戦後やったからな！
知らないのも無理ないわ。
たこ焼きも昔は何も
つけんかったけど
広まったのはこっちやでー



ひーパツク……

た、たこは……
足がかわいいから……
買うのよっ……

まいどっ！



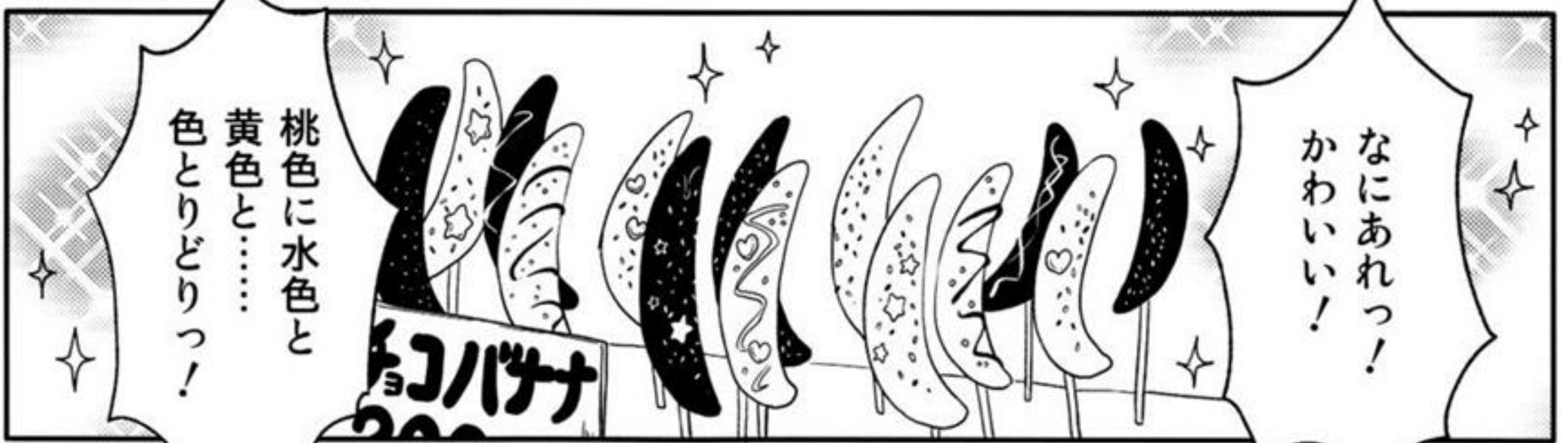


目うつり
しちやう!

あ、見て
あれっ!



私もなにか
買おうかな



桃色に水色と
黄色と……
色とりどりっ!

なにあれっ!
かわいい!

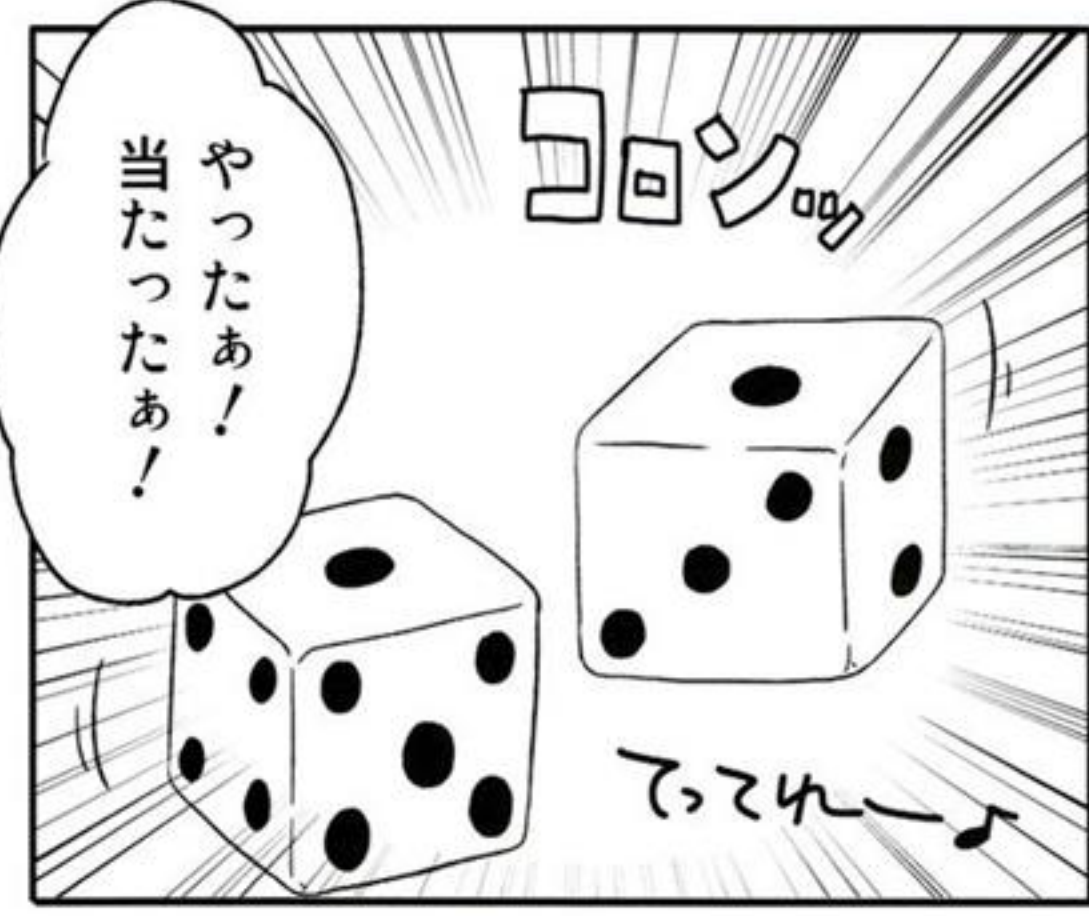


はい、
200円

じゃあ賽子さいごうふって
ぞろ目がでたら
3本持ってって
いいよ



これは
バナナだよ
200円





榛名のところの妖精さんは
そんな不衛生なことは
していませんでしたよ



お祭りの屋台って
今も昔も清濁併せ呑むことも
必要なのでしょうか。
難しいですね。

もぐ
もぐ



HEY!
瑞鶴元気ないネー



え、そうかなあ……



ポ



なんていうか
どうやって楽しんだらいいか
よくわかんなくって……。



大丈夫？瑞鶴？
熱でもあるのかしら？
大丈夫？

そういうんじゃない
だけ……。



Just
try!



!?



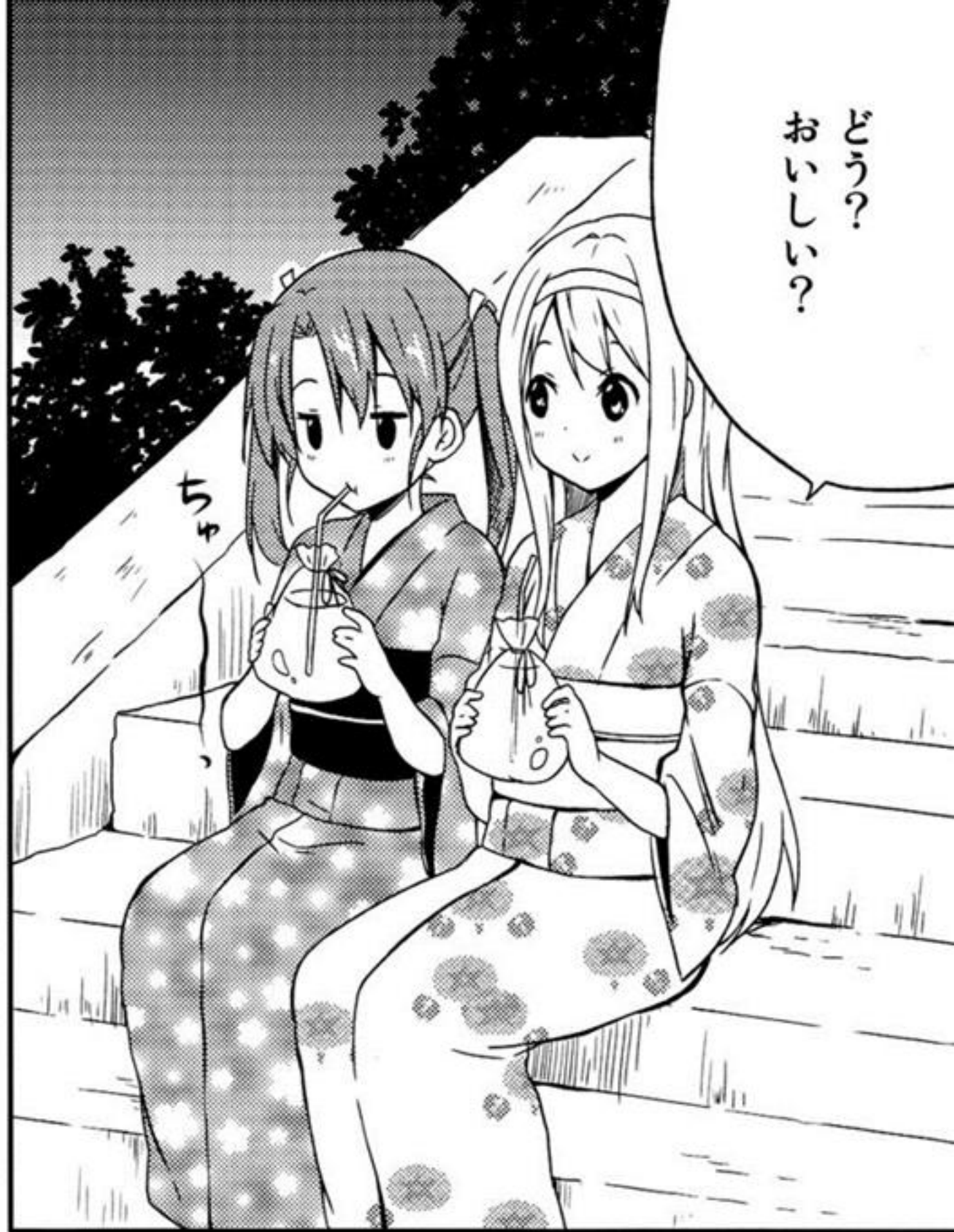
はい。



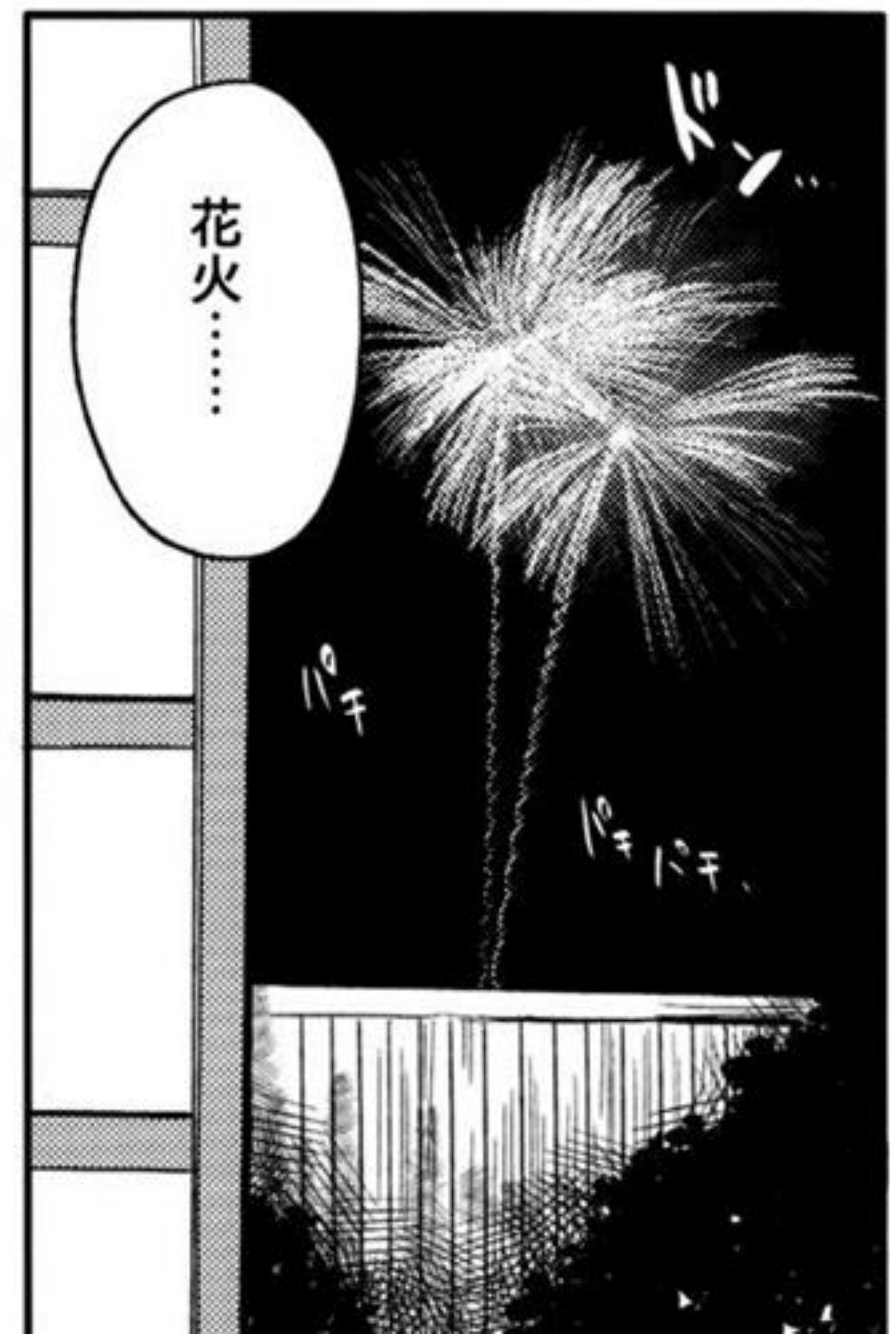
でも……
無理するコトないヨー？
にぎやかなことが
全部楽しいわけじゃないしネ













瑞鶴ー
大丈夫ー？

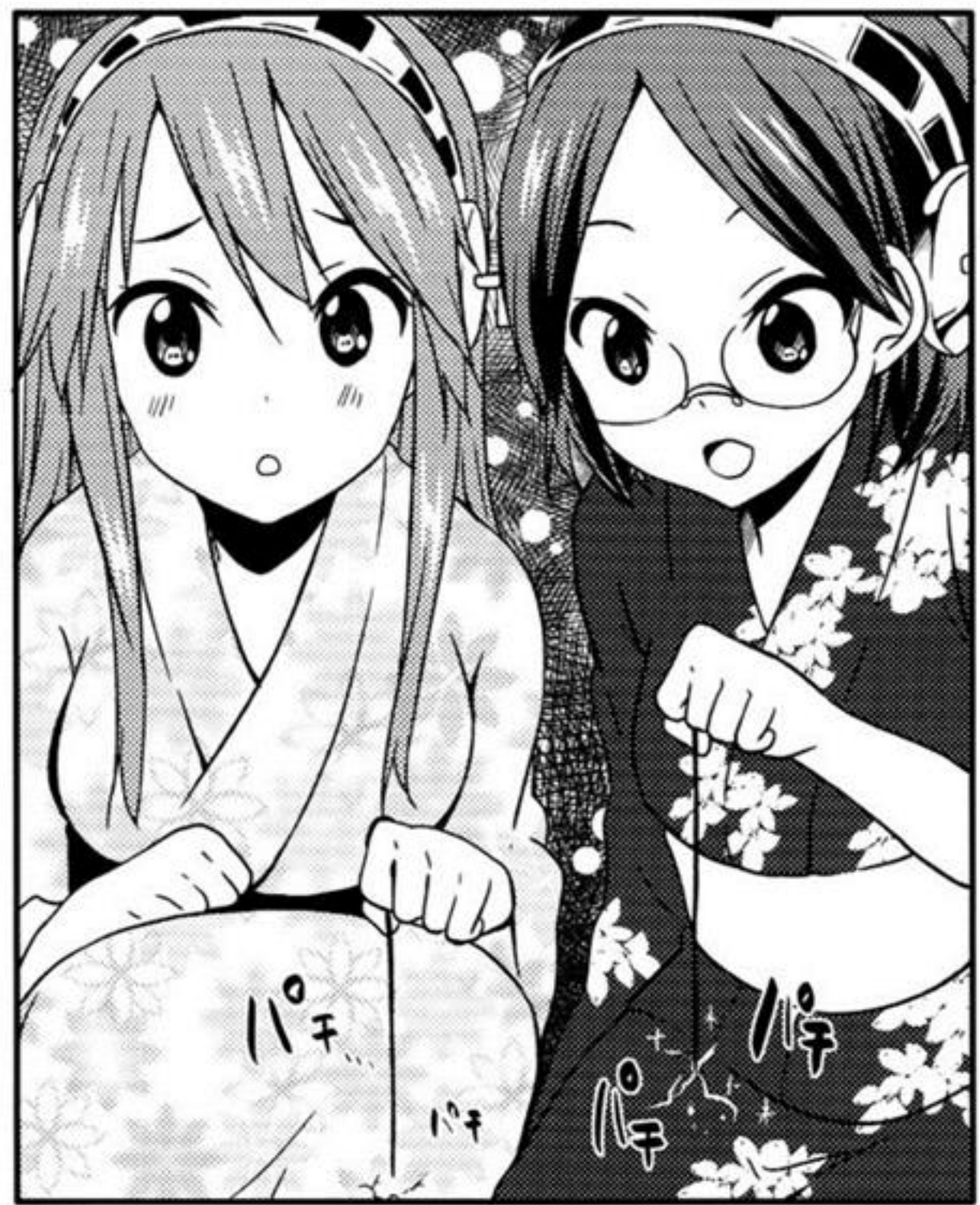
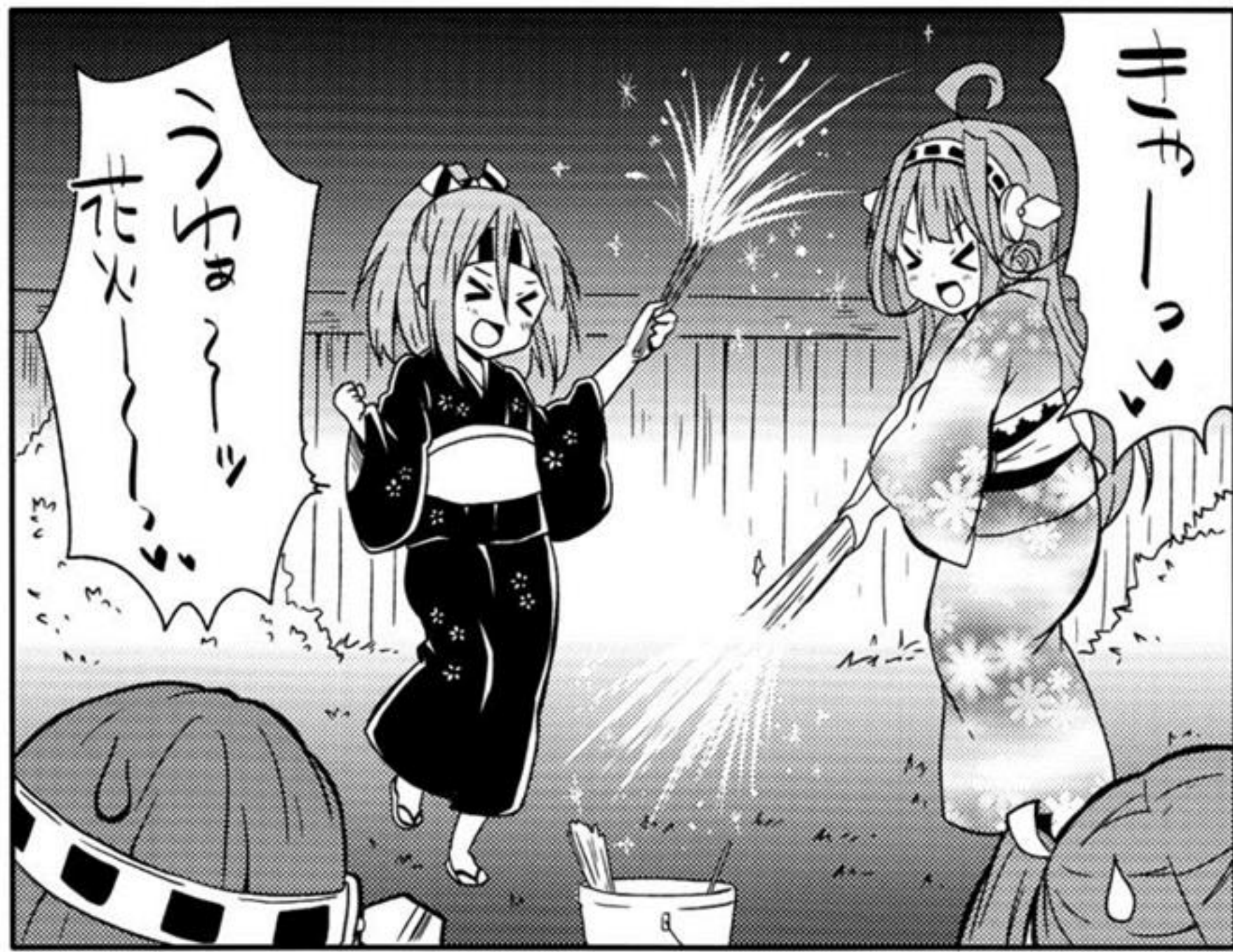


おもちゃ花火とか
買ってきちゃったけど
瑞鶴、できそう？

ちっちゃくても
ソービューティフル！
無理は禁物だけどネ！



やりたい！
やる！





元々はテロの失敗を
火で祝う日だったんだけどサ
今はみんなフェスティバルを
楽しみにしてるんだヨ



英国でも
ガイ・フォークス・デーって
ファイアワークスの
日があつてネ



ドコの国も
同じだネー
日本もホントは
提灯で
カミサマを招いて
浄化するんデショ?

カミサマなんて
信じてなくてもサ

舞台が神社なら
私たちは
みんな艦の中に
ジブンの
神社があるしネ



艦娘になったイマってサ
あの頃よりも
ジブンだけのカミサマ
信じていいんだよネ
きっと。

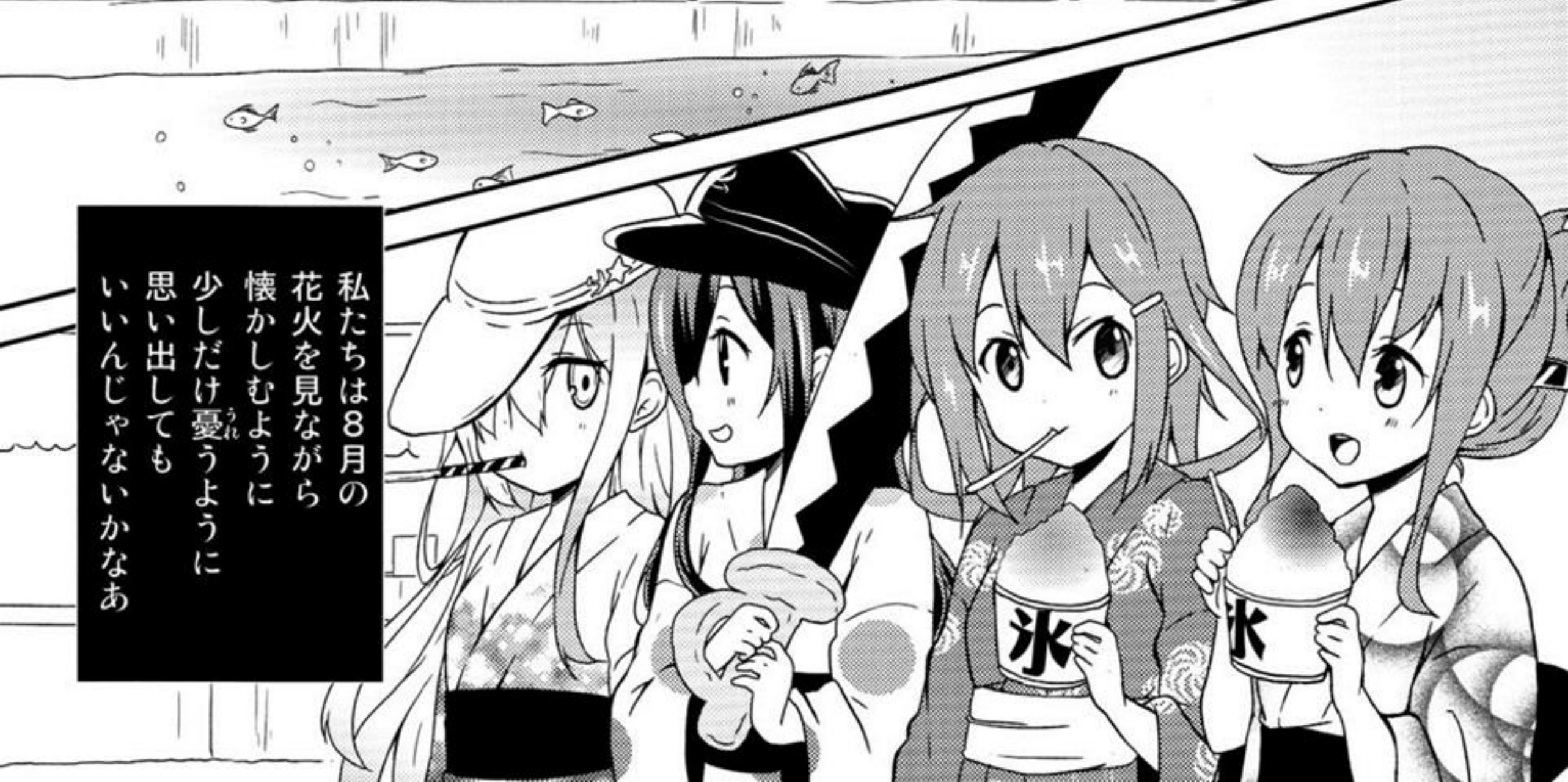
パァー



そういう国に生きていることを
全部肯定できるかっていったら
それは難しいことかもだけど



私たちと一緒に
あの海で戦ってくれた
人たちがいたこと



私たちは8月の
花火を見ながら
懐かしむように
少しだけ憂うように
思い出しても
いいんじゃないかなあ



そしたら少しだけ
現在が、この時代に
生きられたことが



幸せなことなんだったって
私たちは思えるかもだよ



私たちは艦娘。
過去から現在、未来にむかって
生きていく。

テートク、
花火の準備
ありがとう
ございました。



兵器である艦娘たちにとって
この花火が、
火薬の匂いが、音が、
戦いのそれ
でないことを……

今は
ただ楽しむためのものだ
と知ってくれたら、嬉しいよ





RAGHO 艦隊†花火

あとがき

ここまで読んで頂きましてありがとうございます。らくほの赤帽です。あとがきのスペースが極めて小さくなってしまいました。

今回はここ20年くらいの気温の推移のグラフ、食肉の問題、エボラ出血熱、他にも様々な事件・社会問題を鑑みて、それらをあの時代や過去に生きていた人はどう感じるかな？から始まりまして。

艦娘たちが生まれ変わったこの時代も、昔も、きっと未来もずっと何かしら問題を抱えて人類は生きていくんだろうな、と思いつつも、一個人にフォーカスしたらそれでも前に進むしかないんだろう、というようなことを描きたくなりました。祭りも祀りも政も、清濁常に表情を変える海も、それでも乗り越えていけるような提督と艦娘でありますように。

2014.08.07 らくほ 赤帽

2014年8月17日初版

発行 らくほ

<http://ragho.net/>

info@ragho.net

ragho@hotmail.co.jp

twitter : ragho_net

pixiv : 101500

Printed in コーシン出版





Haruna

Namesake: Mount Haruna

Ordered: 1911

Builder: Kawasaki Shipyards

Laid down: 16 March 1912

Launched: 14 December 1913

Commissioned: 19 April 1915

Class & type: Kongō-class battlecruiser

Displacement: 36,600 long tons (37,187 t)

Length: 222 m (728 ft 4 in)[1]

Beam: 31 m (101 ft 8 in)[1]

Draft: 9.7 m (31 ft 10 in)

Installed power: 64,000 shp (46,600 kW)

Propulsion: 4 × Brown-Curtis turbines

4 × shafts[2]

Speed: 27.5 knots (50.9 km/h (31.6 mph)) [1]

Range: 5,000 km (3,105 miles)

Completion: 1915

18 × 356 mm (14 in) (1)

16 × 127 mm (5 in) (2)

12 × 76 mm (3 in) (3)

108 × 25 mm (1 in) Typ. (4)

10 × 127 mm (5 in) (5)

10 × 76 mm (3 in) (6)

Deck: 13 × 127 mm (5 in) (7)

13 × 76 mm (3 in) (8)

Aircraft carried: 3 × reconnaissance floatplanes [3]

Notes: All statistics apply to after the second reconstruction.

